



シーニックバイウェイ北海道 札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

「住んでよし、訪れてよし」の都市空間～都市と自然と人が紡ぎだす札幌の魅力～

札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルートは、札幌中心部から車で約30分。森林や川など手つかずの自然に恵まれた魅力的な観光スポットの周遊が楽しめる都市型ルートです。藻岩山麓から石山・藤野・みずまい 簾舞、定山溪へと続く国道230号と真駒内から芸術の森へ続く国道453号をメインルートに、登山と夜景が有名な藻岩山、溪谷の四季を望む定山溪温泉をはじめ、開拓使時代から札幌冬季オリンピックにいたる歴史的建造物や資料館、自然とアートが融合する石山緑地、果物狩りや農業体験、乗馬、パークゴルフ、ワイナリーなど寄り道・わき道（バイウェイ）が楽しめます。ルートテーマである「住んでよし、訪れてよし」のまちを目指して、札幌市南区内の連合町内会、まちづくり団体、観光施設、商店街、大学など約40団体が連携し「景観」「地域」「観光」の3つの部会を組織し活動しています。

美しい景観づくり：札幌の玄関口にふさわしい魅力ある景観づくり

景観づくり関連部会では「通る人が気持ちよくいてほしい」とルートの立上げ当初から美しい沿道景観づくりを目指した“花いっぱい運動（花植活動）”に取り組んでいます。各地域のオリジナルデザインで彩られる“花の道”は春から夏のドライブをいっそう楽しませてくれます。また、活動メンバー同志が交流を深め・観て・学ぶための花植活動バスツアーや花マップの作成などにも取り組んでおり、地域の花植活動を盛り上げています。そして、冬には、もともと各地域で実施し



藤井 美智子 (ふじい みちこ)

札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルートコーディネーター
(一社)北海道開発技術センター研究員

苫前郡羽幌町出身。高校・大学時代を自然豊かな札幌南区で過ごす。2005年よりシーニックバイウェイ北海道のルートコーディネーターを担当し、札幌シーニックバイウェイの立上げ期に関わる。秋の紅葉や雪景色と楽しむワイナリーツアーの企画を担当するなど、南区の地域資源と人々を結びながらシーニックの活動支援を行っている。



緑豊かな国道230号（左）、花が彩る国道453号（右）



花植活動バスツアー（左）、藻岩下地区連合会の雪あかりの活動（右）

ていた冬のお祭りを札幌シーニックバイウェイの“雪あかり”として、全域で連携しPRする取組を行っています。全域でのPRをきっかけに、それまでバラバラだった冬のイベントで各地域の工夫を凝らした“雪あかり”活動の情報交換が行われ、お互いに刺激となるほか、新たに取組む地域も増えるなど、みんなで冬を楽しむ活動が広がっています。

活力ある地域づくり：自然、歴史、文化を伝え、いきいきと暮らせる地域づくり

地域づくり関連部会では、地域に交流と賑わいを創出することを目指して、豊かな自然環境と地域資源を活用した自然体験・健康・学習などの体験メニューやイベントなどに取組んでいます。地域活性化をテーマとした講演会や地域問題解決ワークショップの開催の他、「地域の細やかな魅力を知ってもらいたい」と徒歩で写真撮影をしながら地域を巡る“Photo Mobility～移動が遊びになる～”を東海大学と連携し開催しています。この活動は、地域内で予めポイントが決められた資源をチーム毎に写真撮影などの課題をこなしながら巡り、その獲得ポイントを競うゲームイベントです。参加者は子どもから大人まで、学生スタッフも一緒になって地域資源の発掘と健康増進、多世代交流・異文化交流を楽しんでいます。



Photo Mobility～移動が遊びになる～チームで何処を巡るか作戦を立て、Aチームいざ出発！

魅力ある観光空間づくり：札幌の奥の深さを感じる滞在型の観光空間づくり

観光空間づくり関連部会では、南区内の歴史・芸術・文化・レジャーなどバラエティに富んだ地域の魅力のPRと回遊性の向上を目指し、札幌南区を巡るスタンプラリーの取組を行っています。毎年、アイデアを出し合い試行錯誤で工夫を重ねてきました。2016年は

“縦・横・斜め”とビンゴゲームのようにスタンプを集めていく、新たなルールを設定。名称も「スタンプdeビンゴラリー」へとリニューアルし実施したところ、「これまでは近い施設を順番に巡っていたのが縦・横・斜めに巡っていくと自分で意図しない施設を訪れることになり思いがけない出会いがあった」「ゲーム性があり楽しかった」など参加者にも好評を得ました。さらに、ここ数年横ばいだった参加者数も増加しました。



スタンプdeビンゴラリー2016

オリジナルロゴマークの作成・活用

札幌シーニックバイウェイでは地域内外の人々にもっと“シーニックバイウェイ”の活動を知ってもらおうと、ルートのロゴマークを製作・活用しています。このロゴマークは、札幌市立大学デザイン学部の学生によるデザインで、南区の花であるコスモスと太陽をモチーフに、札幌とシーニックの頭文字「S」の形で表された道が配置され、色は明るく華やかなコスモスピンクです。イベント等でみんなが使用できる法被や



札幌シーニックバイウェイ
藻岩山麓・定山溪ルート

缶バッジ、ステッカーなどを作成し、南区内の店舗等の入口への掲示や地域特産品へ貼るなど、できるだけ目につく機会を増やし、活動の周知と仲間づくりに励んでいます。

おわりに

大都市札幌とは信じがたい北海道らしい雄大な風景と花壇や雪あかりなど、地域の人々が心を込めて紡ぎだす自然と暮らしが調和した風景に出会うことができる札幌シーニックバイウェイ。次の休日は、そんな風景を眺めながら、さらに地域の奥深く隠れた資源の寄り道を楽しむシーニックドライブに出かけませんか。